



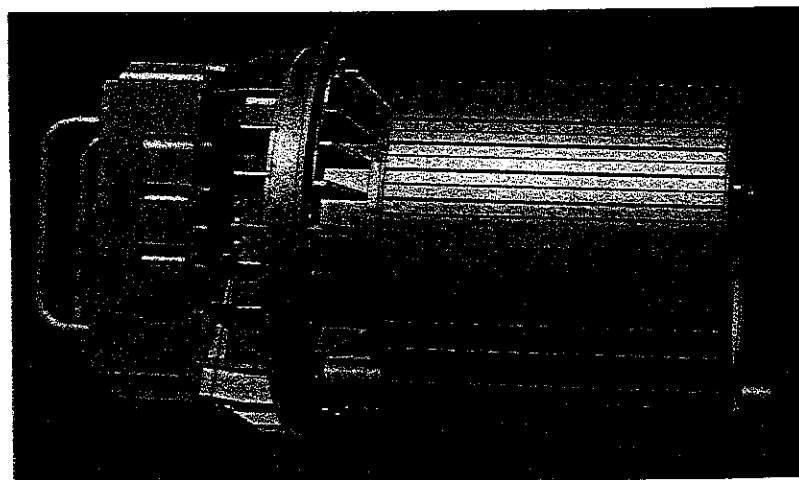
LINX JAPAN

LINX LED PAR LAMP

【 PAR64用LED光源ユニット 】

取扱説明書

Ver 1.07



このたびは、『LINX JAPAN』シリーズ製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

リンクスジャパン株式会社

目次

1. 特長	1
2. 警告表示内容の説明	1
3. 安全にお使い頂く為に	2
4. 本体表示銘板と表示内容	4
5. 本製品の付属品	5
6. 各部の名称と使用方法	6
7. PAR 6 4への装着方法(参考)	7
8. 入力電源についてのご注意	12
9. LED光源ユニット間のDMX接続方法	12
10. DMXアドレス設定	13
11. 制御チャンネル設定	16
12. 調光カーブ設定	18
13. ズーム位置設定	21
14. マニュアル調光モード	24
15. DMX制御モード切替	27
16. LCD画面濃淡調整モード	29
17. ズームモーターOFFモード	31
18. 点検と修理	34
19. 仕様一覧	36
20. DMXチャンネル表	37
21. 外形図	39

1. 特長

- ・ 高出力・高演色性
舞台・スタジオで求められる十分な明るさを確保し、ウォームホワイトにおいては高演色性Ra96を実現しました。
- ・ 芯のある光
あえて照射面をフラットにせず芯を設けることにより照射面に対して立体的な表現が可能となっております。
- ・ 自在な配光角
DMX制御もしくはマニュアル操作でビーム角を16°～53°まで変更することが可能となっており、DMX制御時最小から最大ビーム角まで約4秒で変更可能です。
- ・ 静音性の確保
ローノイズファンで静穏性を確保しております。
- ・ あらゆるシーンに対応した調光カーブ
コンサート、芝居、ハロゲン混在の3つのモードがあり、用途により選択することで適切な調光カーブに設定することができます。

2. 警告表示内容の説明

光源本体および取扱説明書に警告表示をしています。光源の使用前に警告内容を必ず確認のうえ安全にご使用ください

シグナル用語の意味

警告

- ⚠ 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い場合

注意















- ⚠ 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

警告表示例



3. 安全にお使いいただくために

警告

-  演出空間用の光源です。演出空間の用途以外には、使用しないでください。
一般用照明光源として使用する製品ではありません。
-  光源の本体質量に見合った器具を使用してください。
光源の選定を間違えると落下し、物的損害・けがの原因となります。
-  光源の取り付け・設置時には、可燃物と光源周辺面（照射方向を除く）との最小距離を本体表示および取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定距離より近すぎると、火災の原因となります。
-  集光形光源と被照射面の距離は、本体表示および取扱説明書に従って十分な距離をとってください。指定距離より近すぎると、被照射物の火災の原因となります。
-  移動・取付を行う場合は衝撃を与えないでください。光源の破損の原因となります。
-  光源の使用角度に制限があります。
本体表示および取扱説明書に従って正しく使用してください。
使用角度範囲を超えると、LEDの破損・短寿命の原因となります。
-  光源の取付・設置時は、電源コードならびに信号ケーブルを光源本体に接触しないように取付けてください。接触していると火災の原因となります。
-  光源の点灯中および消灯直後は、本体周辺を素手で触らないでください。
本体周辺が高温のため、やけどの原因となります。
-  煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
-  許可なく光源を分解したり改造しないでください。故障・感電・火災の原因となります。やむなく修理の為に分解する場合は、メンテマニュアルの指示に従ってください。
-  異常時にはすぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから原因を究明してください。
容易に原因の究明ができない場合は、弊社に修理依頼をしてください。
-  本光源は精密機器です。衝撃を与えないでください。
故障の原因となる可能性があります。必ず手で操作を行ってください。
-  ハロゲン光源などと同時に使用する場合は、本光源から十分に遠ざけてください。
熱により破損・溶解の原因となります。
-  振動の激しい場所、常時振動がある場所への取付・設置は行わないでください。落下し、物的損害・けがの原因となります。

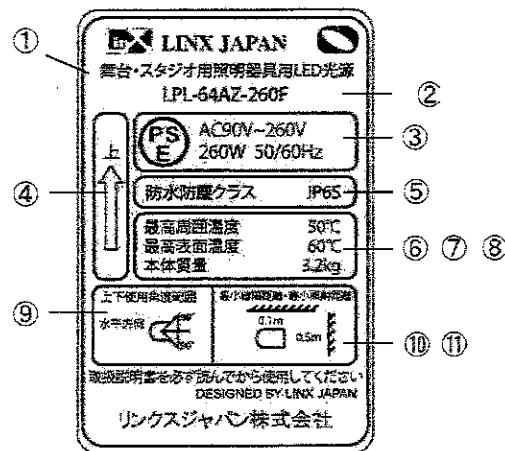
⚠ 注意

1. 使用環境・使用条件について
 - この光源は屋内屋外用です。屋外使用時はIP65準拠範囲内をお願い致します。
水没状態で使用すると、感電・故障の原因となることがあります。
 - この光源は最高周囲温度以下で使用してください。
破損・変形・火災とLEDのフリッカ・不点灯の原因となることがあります。
 - 不安定な場所や燃えやすいものの近くで使用しないでください。
倒れたり、落ちたりして、火災・けがの原因となります。
2. 取付・設置について
 - 光源の取付・設置前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要ときに活用ください。
 - 光源の取付・設置は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は、間違いの原因となるおそれがあります。
 - 据付施工は主任電気工事士の管理のもと行ってください。
なお、電線相互を接続する作業は電気工事の有資格者が行ってください。
 - 光源の取付・設置に方向性があります。本体表示および取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定以外の取付けを行うと、光源本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
 - 光源の取付・設置には、光源本体の落下防止ワイヤーを取扱説明書に従って正しく取付けてください。
確実に取付けないと取り付け金具の破損により光源が落下し、物的損害・けがの原因となります。
3. 使用前の準備について
 - 光源の使用前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要ときに活用ください。
 - 光源の使用前の準備は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は、間違いの原因となるおそれがあります。
 - 電源接続は、取扱説明書に従って確実に行ってください。
接続が不完全な場合は、接触不良により火災の原因となります。
4. 使用方法について
 - 光源を取扱う場合は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は、間違いの原因となるおそれがあります。
 - 光源の取付けに方向性があります。本体表示および取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定以外の取付けを行うと、光源本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
 - 光源の取り付けには、光源本体の落下防止ワイヤーを取扱説明書に従って正しく取り付けください。
確実に取付けないと取り付け金具の破損により光源が落下し、物的損害・けがの原因となります。
 - 光源のレンズ収納部（レンズ、フィルタ等）を取り外して使用しないでください。
LED、充電部が露出し、感電・火災の原因となります。
 - 地震などの天災の後、再使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が点検を行ってください。未熟練者だけでの対応は、間違いの原因となるおそれがあります。
5. 保守点検について
 - 光源は、日常点検を実施してください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
 - 光源の点検（整備）は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は、間違いの原因となるおそれがあります。
 - 部品交換、清掃時は、必ず電源を切ってください。電源を切らないと感電することがあります。
 - 電源コード・接続線は日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。感電・火災の原因となることがあります。
 - レンズ収納部に亀裂がないが日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。レンズ収納部が落下し、物的損害・けがの原因となります。
 - 光源のネジ類は、振動等で緩む場合があり取扱説明書に基づき処置をしてください。
故障、落下による物損の原因となります。
 - 埃や紙吹雪が溜まったまま使用しないで、清掃してください。火災の原因となります。
 - 交換部品は弊社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。
光源の機能劣化・感電・火災の原因となります。
6. 保管時について
 - 埃りの多い場所や湿度が高く結露しやすい環境に保管しないでください。故障・絶縁不良の原因となります。
 - レンズ収納部に損傷を与えないように保管してください。安全シールドの効力をなくす原因となります。
 - 光源は立てずに横に置いてください。倒れたりして、けが・破損の原因となります。
 - 再使用するときは、点検を必ず行ってから使用してください。感電・火災の原因となるおそれがあります。
 - 保護アームはディスプレイ部の保護を目的としていますので、強い力で握ると破損の恐れがあります。

4. 本体表示銘板と表示内容

LED光源の本体に下記の銘板が表示してあります。
 取り扱い時には、必ず内容を確認のうえ、安全にご使用ください。

4.1 本体表示銘板



4.2 表示内容

- | | |
|---------|--|
| ①用途表示 | 「演出空間用照明用LED光源」であることを表しています。演出空間の用途以外では使用しないでください。 |
| ②形名 | モデル番号(形名)を表示しています。 |
| ③法定表示 | 電気用品安全法の規定による製造事業者名「定格電圧」「定格周波数」「定格消費電力」「PSマーク」を表示しています。 |
| ④上部方向表示 | 光源の上方向を表示しています。必ず矢印の方向を上にして取付けてください。 |
| ⑤防水防塵等級 | ICE(国際電気標準会議)やJIS(日本工業規格)で規定された防水や防塵の程度についての等級を表示しています。 |
| ⑥最高周囲温度 | 通常の使用状態で連続動作させてもよい最高周囲温度を表示しています。 |
| ⑦最高表面温度 | 使用角度範囲において連続点灯したときの外面温度の最高値を表示しています。 |
| ⑧本体質量 | その他付属品を含まない光源本体質量を表示しています。 |
| ⑨使用角度範囲 | 基準方向に対する使用角度範囲を表示しています。許容範囲内で使用してください。 |
| ⑩最小照射距離 | 通常の使用状態で連続点灯させたととき、被照射対象物(黒色ボード)の温度が90℃に達する最小距離を表示しています。 |
| ⑪最小離隔距離 | 通常の使用状態で連続点灯させたととき、可燃物(黒色ボード)の温度が90℃に達する最小距離を表示しています。 |
| ⑫製造番号 | 製品本体に記載しております。 |

5. 本製品の付属品

(1) 落下防止ワイヤー

× 1



(2) 高さ調整用ウレタン(厚)

× 1



(3) 振動防止用ウレタン(薄)

× 1



(4) アップデート用USB差し込み口蓋

× 3



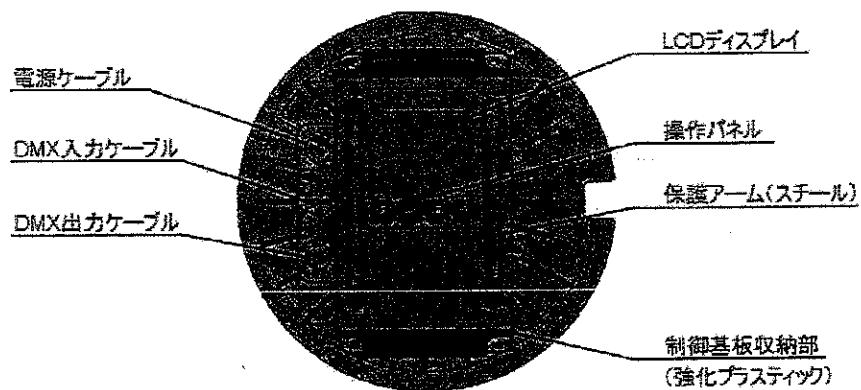
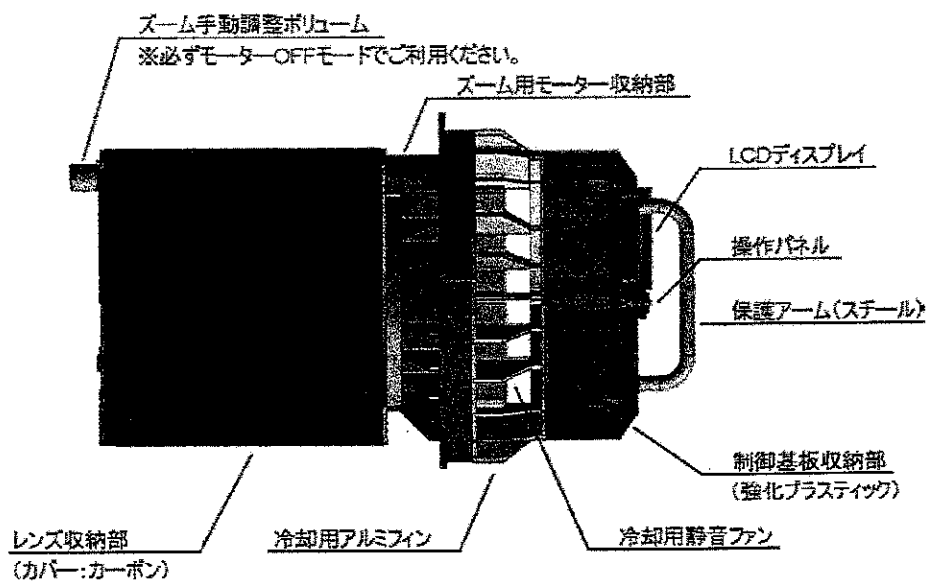
(5) マニュアル

× 1

※電源プラグは付属しておりません。

6. 各部の名称と使用方法

6.1 各部の名称



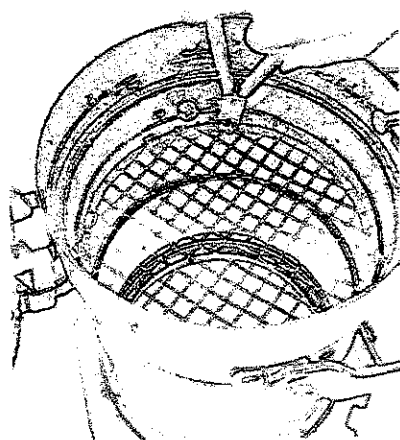
7. PAR64への装着方法 (参考)

※PAR64は製造メーカーにより異なりますので、本説明は参考とさせていただきます。

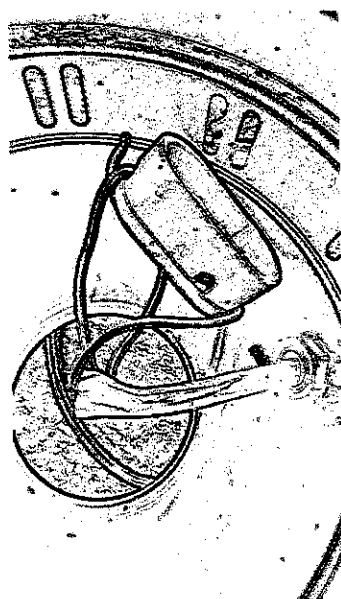
(1) LED光源ユニットのパーライトへの装着

(i) 事前準備

- ① 最初にパーライトの落下防止網を取り除いておいてください。

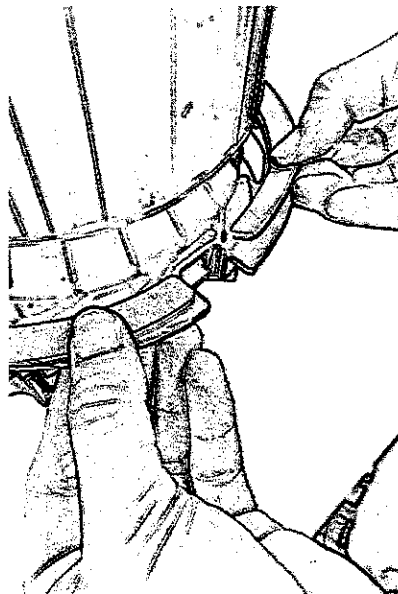


- ② モーガルや不要な配線を除去してください。

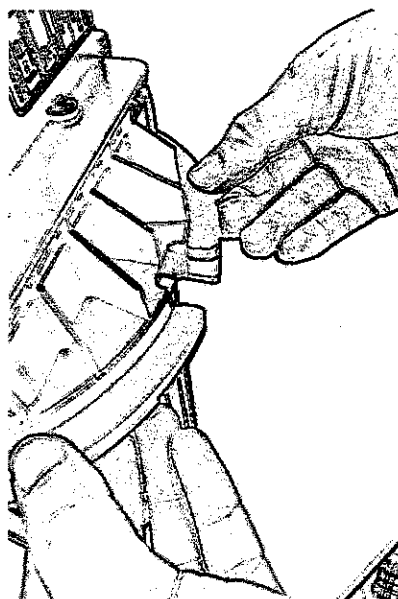


(ii) LED光源ユニットへのウレタンテープの貼付け

③ LED光源ユニット円盤部レンズ側へ振動防止用ウレタンテープ（薄）を貼付けてください。



④ LED光源ユニット円盤部電源側へ高さ調整用ウレタンテープ（厚）を貼付けてください。

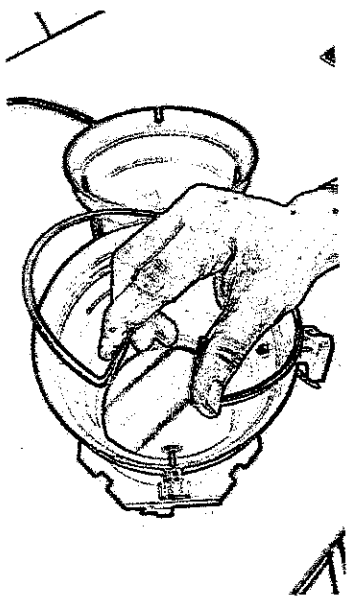


※装着した際に、電球押えバネ固定位置とLED光源ユニットの円盤の間に隙間がある場合は付属のウレタンテープを追加で貼って調整してください。複数枚重ねて貼ることで高さを調整することができます。

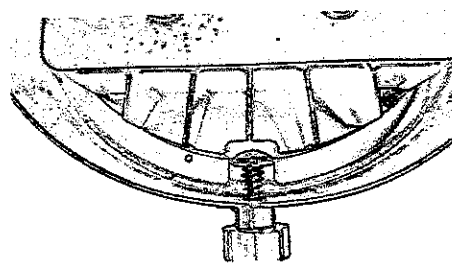
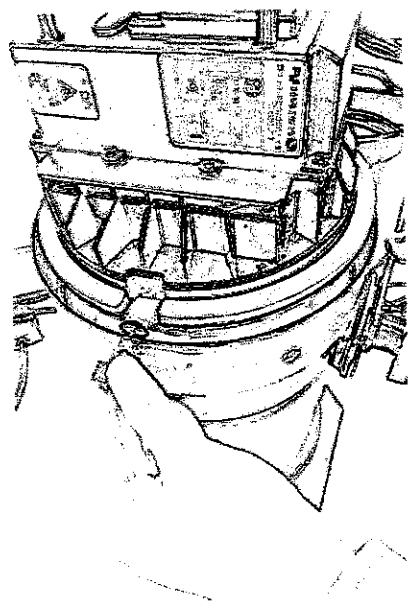
※この時電球押えバネとウレタンの間に隙間があるとLED光源ユニットがパーライトの中心位置に固定されません

(iii) LED光源ユニットのパーライトへの装着

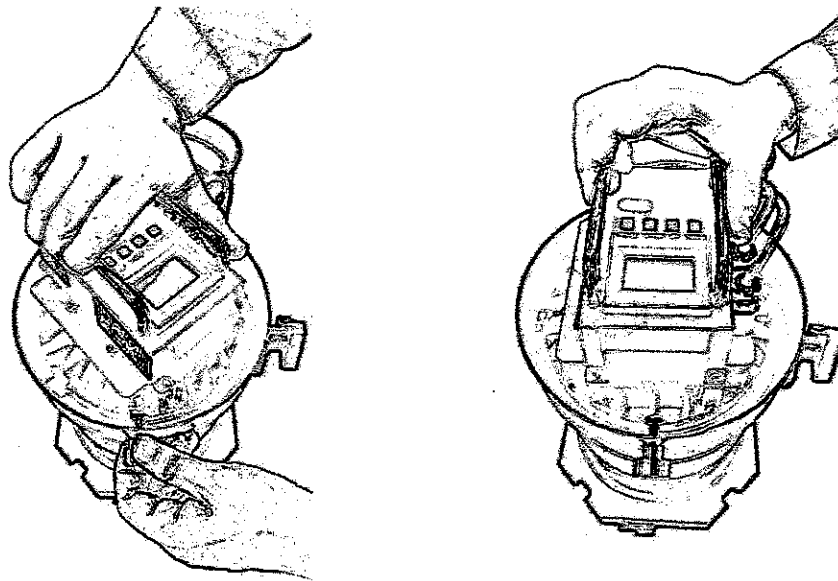
- ① パーライト後面の蓋をあけ、電球押えバネを取り除いてください。



- ② LED光源ユニットをレンズを下にして後面蓋のストッパーの出っ張りとLED光源ユニットの円盤切れ込みが合うようにゆっくりと挿入してください。



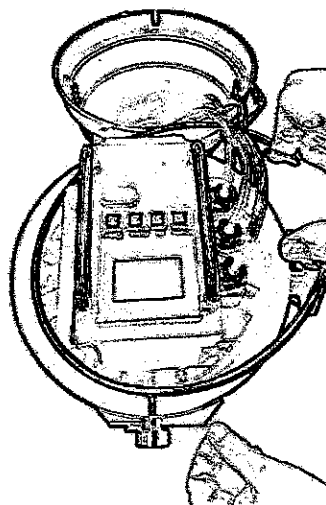
③ ランプ装着位置までLED光源ユニットが入ったら、回転させ操作パネルの向きを合わせてください。



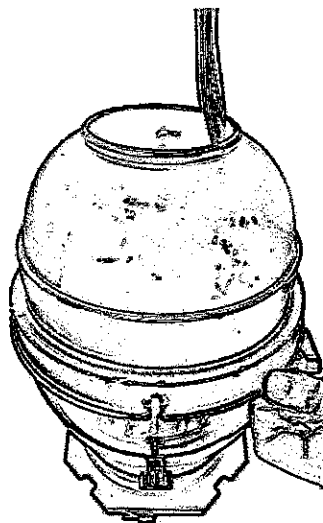
④ 電球押えバネでLED光源ユニットを固定してください

その際、電球押えバネ固定位置とLED光源ユニットの円盤の間に隙間がある場合は付属のウレタンテープを貼って調整してください。複数枚重ねて貼ることで高さを調整することができます。

※この時隙間があるとLED光源ユニットがパーライトの中心位置に固定されません。



⑥ 後面蓋を閉じる前に、電源コード、DMXケーブル、落下防止用ワイヤーを後面蓋の穴から外へ出してください。後は後面蓋を閉めて装着完了です。



8 入力電源についてのご注意

調光器の出力（ノンタイム出力含む）を電源として使用することはできません。

調光出力（ノンタイム出力を含む）で点灯させた場合、調光器が誤動作することがあります。

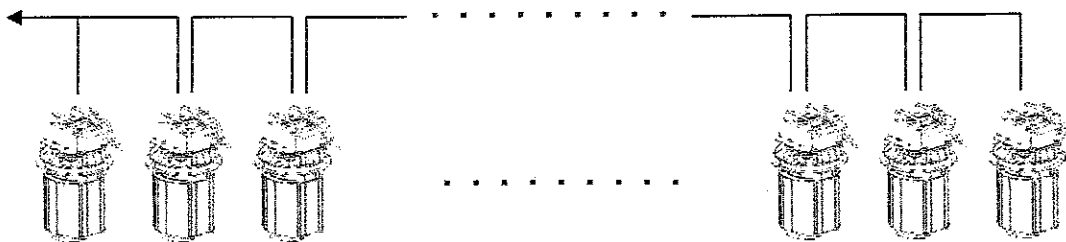
また、調光器・光源の故障の原因となる可能性があります。

※商用交流電源・純直回路に接続する場合

定格入力電圧は、AC 95 V～240V 50/60Hz です。この範囲でご使用ください。

9. LED光源ユニット間のDMX接続方法

本製品は最大30台まで連結して使用することができます。



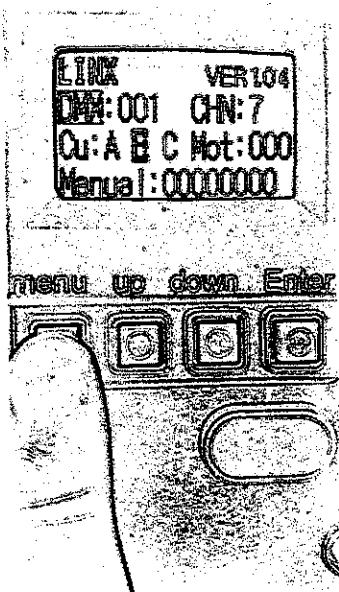
注意

- プラグを引抜く際は、電源コードを持たずに、必ずプラグを持って引抜いてください。
- 本製品は精密機器です。衝撃を与えないでください。
損傷、不点灯・フリッカおよび異音の発生等の可能性があります。必ず手で操作を行ってください。
- ハロゲン光源などと同時に使用する場合は、本製品から十分に遠ざけてください。
熱により破損・溶解の原因となります。
- 使用中にDMX信号が遮断されると、直前の信号を維持します。
- 防滴性能を維持するため、定期的に防水パッキン等の交換をすることをおすすめします。

10. DMX アドレス設定

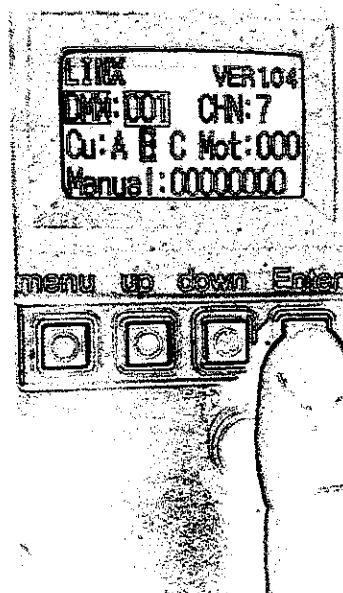
10.1 menu ボタンを押す。

menuボタンを押すことで設定モードとなりDMX: 横の数字が点滅します。

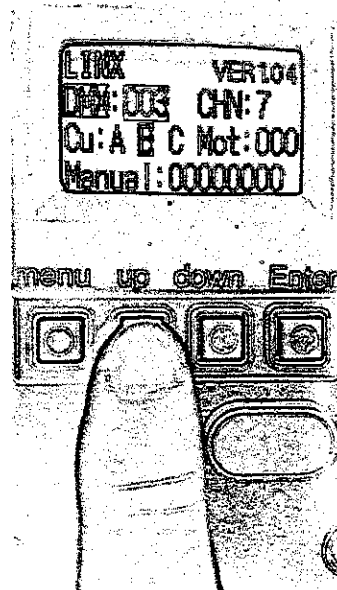


10.2 Enter ボタンを押す

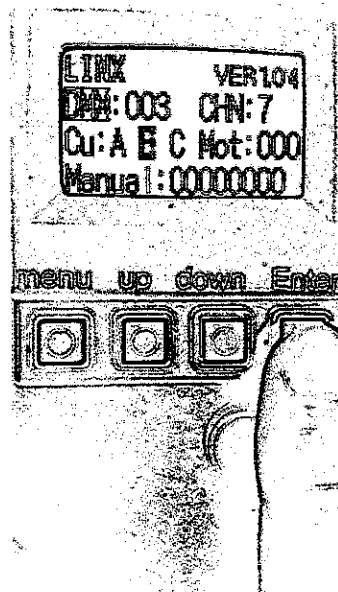
DMX: 横の数値が点滅していることを確認し、Enterボタンを押すことでDMXアドレス設定モードとなります。



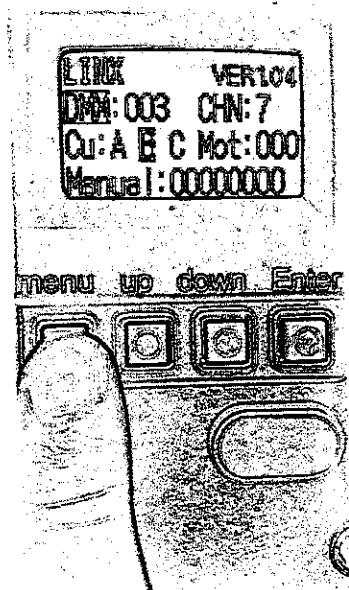
- 10.3 up、down スイッチで任意の DMX アドレスに合わせます。
up、down スイッチは長押しすることで早送りをすることができます。



- 10.4 DMX アドレスを合わせた後、Enter ボタンを押し確定させます。
Enter ボタンを押さないと DMX アドレスは変更されません。



- 10.5 最後にmenuボタンを押し設定モードを終了します。
※設定モードを終了しないとDMX信号を受け付けません。

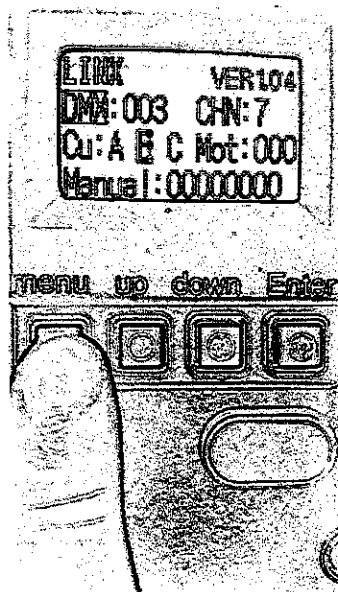


1 .

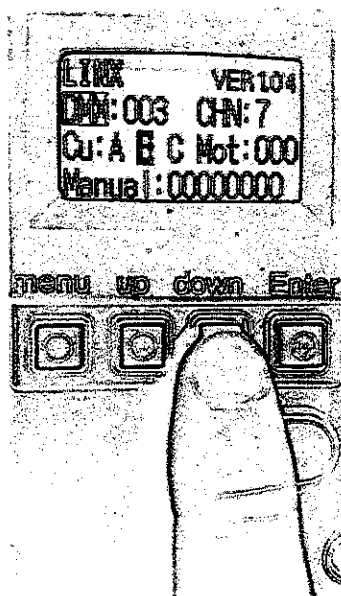
11. 制御チャンネル設定

11.1. Menuボタンを押す。

Menuボタンを押すことで設定モードとなりDMX: 横の数字が点滅します。

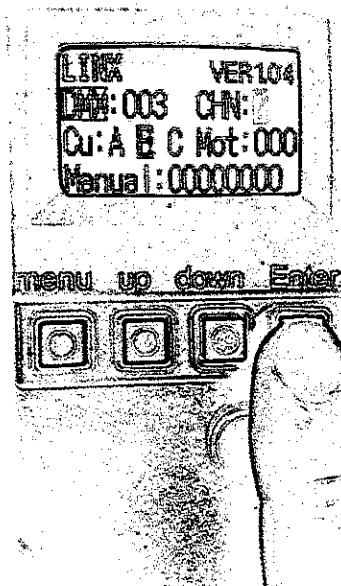


11.2 downボタンを1回押すことで、CHN: 横の数字が点滅に変わります。

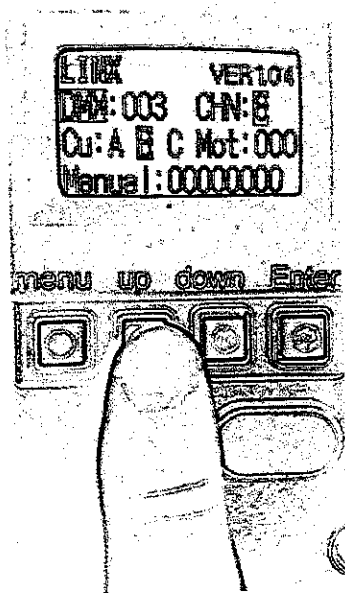


11.3 Enterボタンを押す

CHN:横の数値が点滅していることを確認し、Enterボタンを押すことで制御チャンネル設定モードとなります。



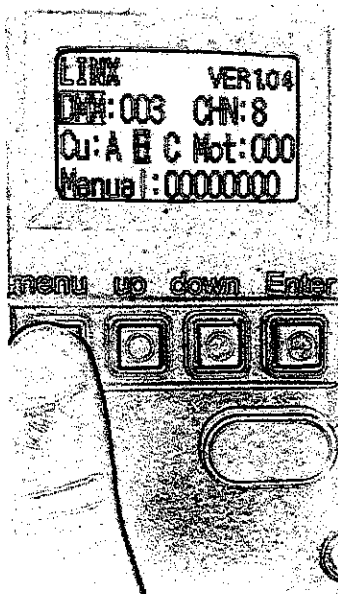
11.4 up、down スイッチで任意の制御チャンネルに合わせます。



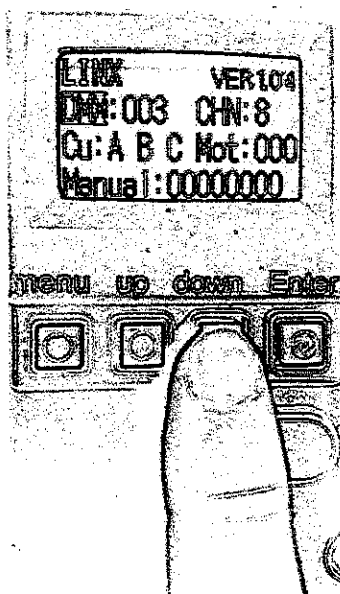
12. 調光カーブ設定

12.1 Menuボタンを押す。

Menuボタンを押すことで設定モードとなりDMX:横の数字が点滅します。

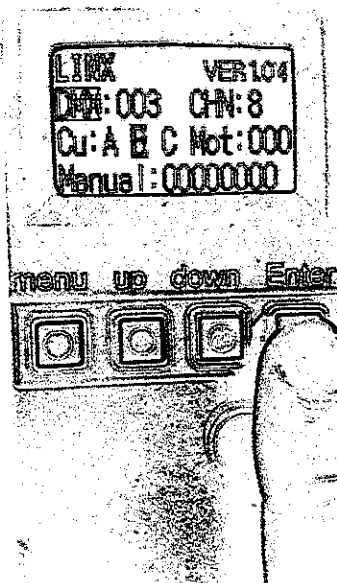


12.2 downボタンを2回押すことで、Cu: 横の数字が点滅に変わります。

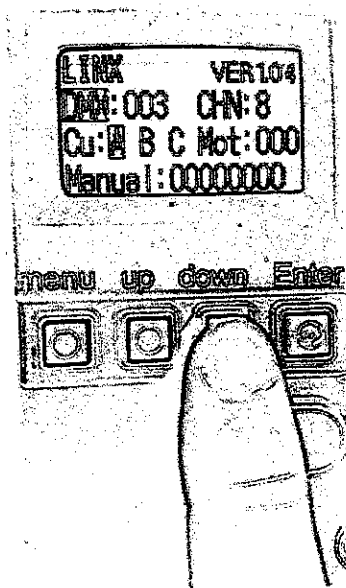


12.3 Enterボタンを押す

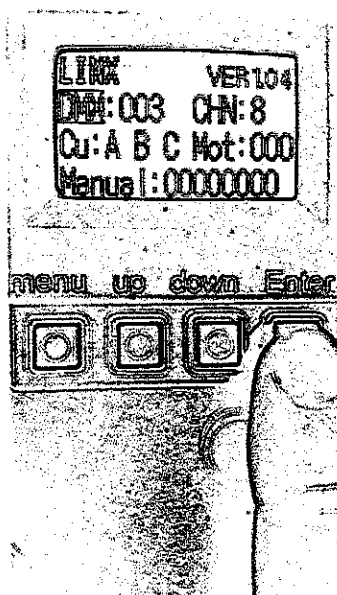
Cu: 横の数値が点滅していることを確認し、Enterボタンを押すことで制御チャンネル設定モードとなります。



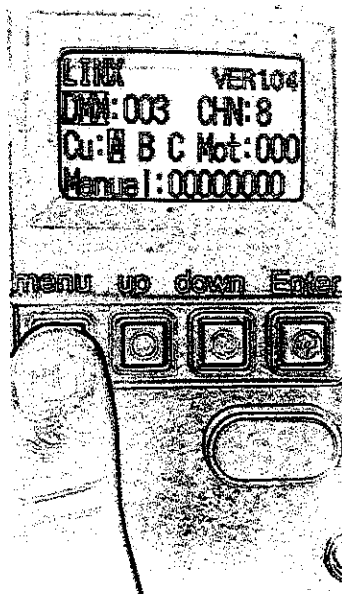
12.4 up、down スイッチで任意の調光カーブに合わせます。



- 12.5 調光カーブを合わせた後、Enterボタンを押し確定させます。
Enterボタンを押さないと調光カーブは変更されません。



- 12.6 最後にmenuボタンを押し設定モードを終了します。
設定モードを終了しないとDMX信号を受け付けません。

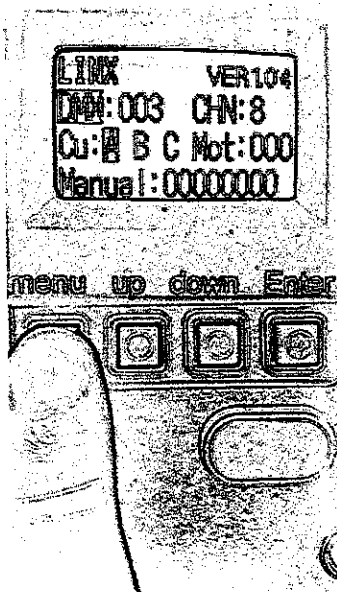


13.ズーム位置設定

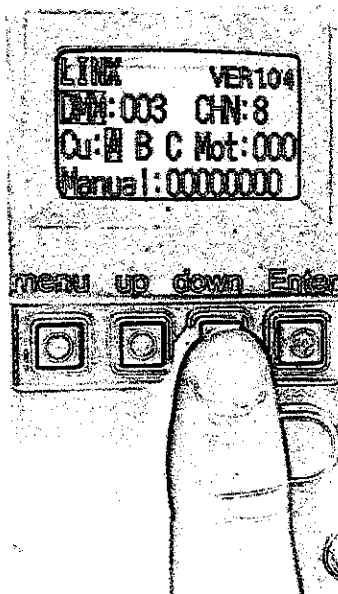
※注意 ズーム位置設定を行うとDMXでの制御はできません。

13.1 Menuボタンを押す。

Menuボタンを押すことで設定モードとなりDMX:横の数字が点滅します。

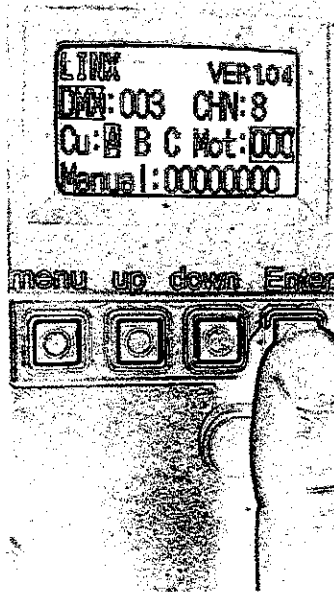


13.2 downボタンを3回押すことで、Mot:横の数字が点滅に変わります。

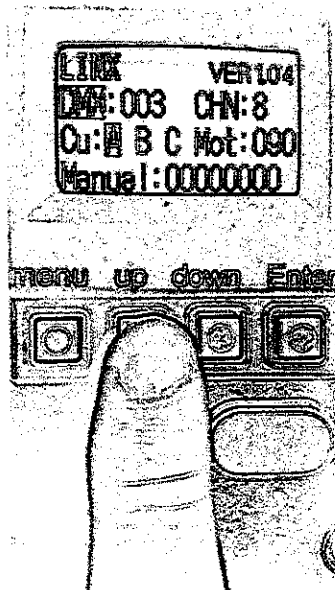


13.3 Enterボタンを押す

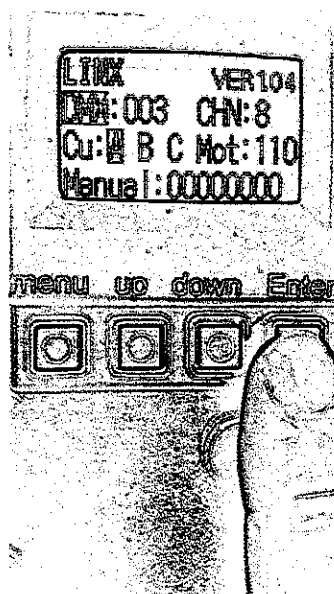
Cu: 横の数値が点滅していることを確認し、Enterボタンを押すことでズームモーター設定モードとなります。



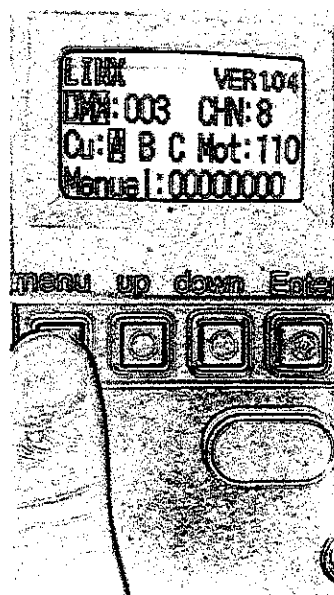
13.4 up、down スイッチでズームを任意の位置に合わせます。



- 13.5 ズームを合わせた後、Enterボタンを押し確定させます。
Enterボタンを押さないとズーム位置は固定されません。



- 13.6 最後にmenuボタンを押し設定モードを終了します。
設定モードを終了しないとDMX信号を受け付けません。

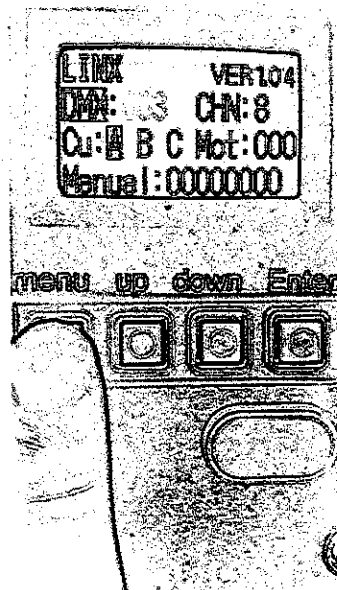


14. マニュアル調光モード

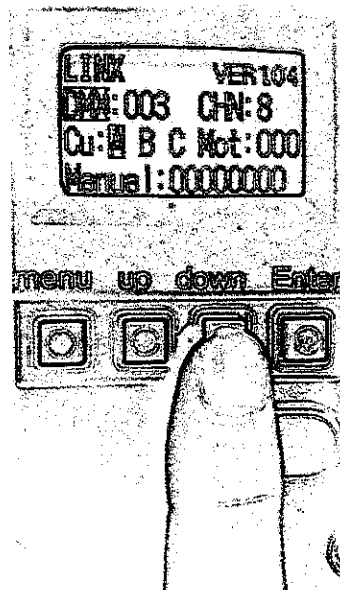
※注意 マニュアルモードにするとDMXモードに切替を行わない限りDMXでの制御はできなくなります。

14.1 Menuボタンを押す。

Menuボタンを押すことで設定モードとなりDMX: 横の数字が点滅します。

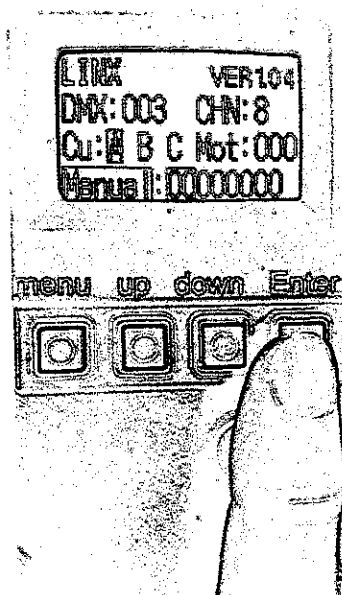


14.2 downボタンを4回押すことで、Manual: 横の数字が点滅に変わります。

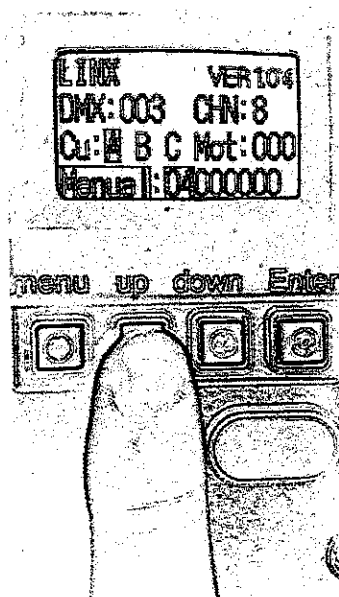


14.3 Enterボタンを押す

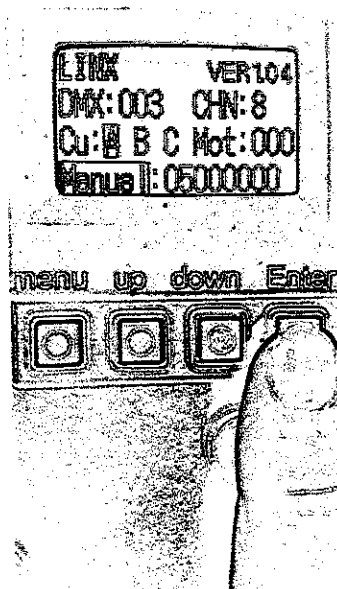
Manual横の数値が点滅していることを確認し、Enterボタンを押すことでマニュアル調光モードとなります。



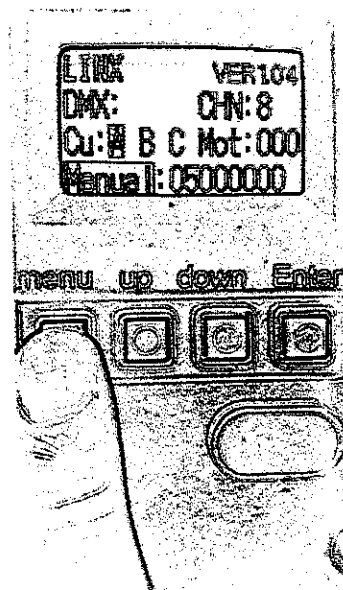
14.4 up、down スイッチで任意の調光レベルに合わせます。



- 14.5 調光レベルを合わせた後、Enterボタンを押し確定させます。
Enterボタンを押さないと調光レベルは固定されません。



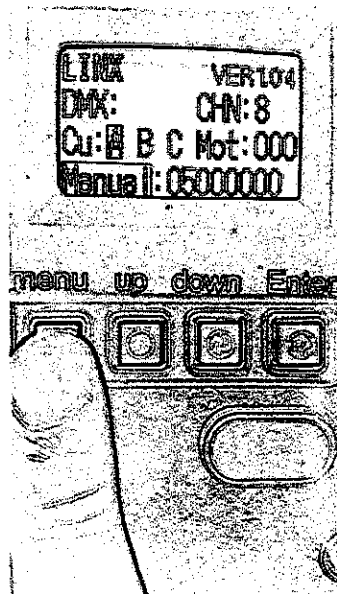
- 14.6 最後にmenuボタンを押し設定モードを終了します。
設定モードを終了しないとDMX信号を受け付けません。



15. DMX 制御モード切替

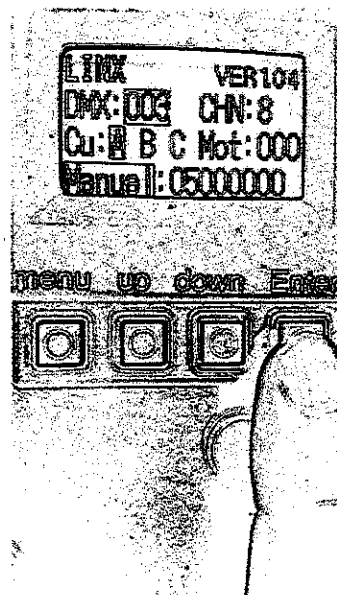
15.1 Menuボタンを押す。

Menuボタンを押すことで設定モードとなりDMX: 横の数字が点滅します。

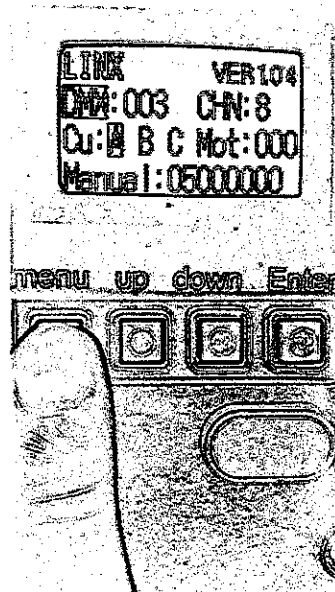


15.2 Enter ボタンを2回押す

DMX: 横の数値が点滅していることを確認し、再度Enterボタンを押すことでDMX制御モードとなります。



- 15.3 最後にmenuボタンを押し設定モードを終了します。
設定モードを終了しないとDMX信号を受け付けません。

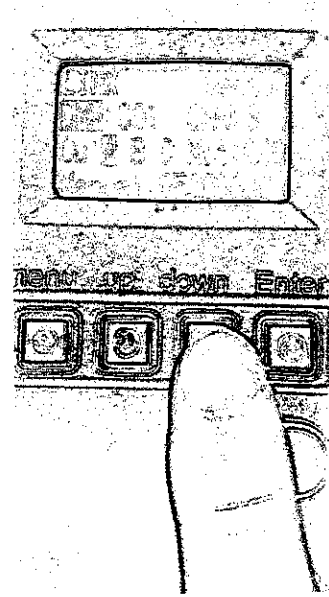
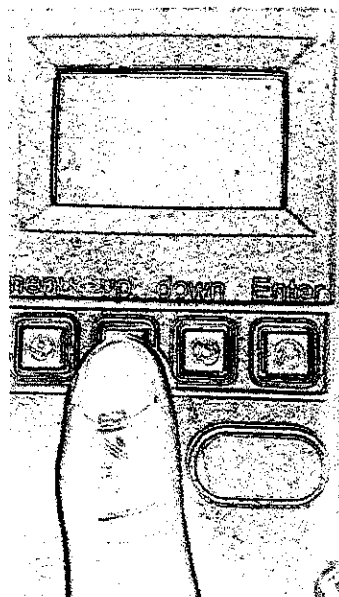


16. LCD画面濃淡調整モード

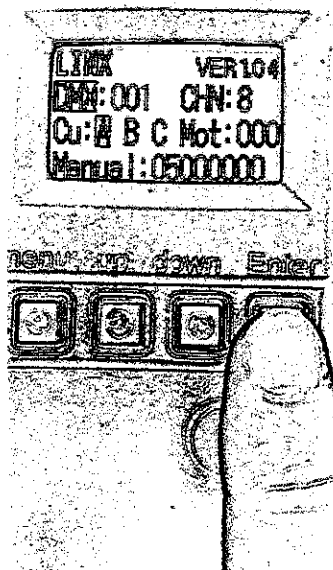
- 16.1 Menuボタンをピッ、ピッ、ピッと連続して鳴り続けるまで6秒以上長押しします。
※途中でボタンを離すと通常の設定モードになりますので、その際はMenuボタンを一度押し設定モードを解除して再度やり直してください。



- 16.2 upボタンを押すごとに濃くなり、downボタンを押すごとに薄くなります。
※ボタンの長押しでの早送りはできません。



16.3 Enterボタンを押すことで、濃淡の値が書き込まれます。



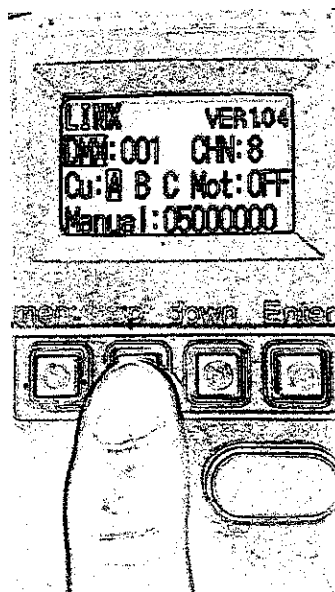
17. ズームモーターOFFモード

この機能は、ズームモーターになんらかのトラブルが発生した場合にレンズ前のポリウムでズーム位置を合わせる為のものです。※正常時は使用しません。

OFFモードの場合、ズームの0位置検知を行わずイニシャライズして使用することができます。DMXでのモーター制御はできません。

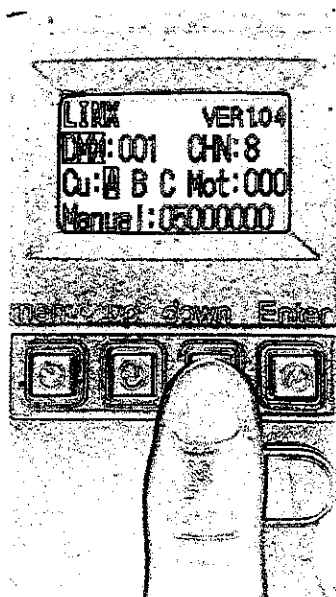
16.1 モーターOFFはupボタンを10秒以上長押しします。

※通常の設定モードではOFFになりませんので、その際はMenuボタンを一度押し設定モードを解除して再度やり直してください。



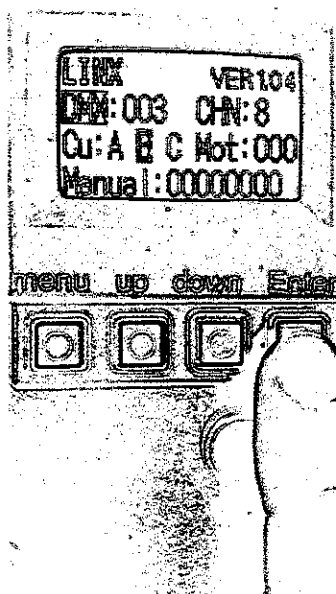
17.2 モーターONはdownボタンを10秒以上長押しします。

※通常の設定モードではOFFになりませんので、その際はMenuボタンを一度押し設定モードを解除して再度やり直してください。

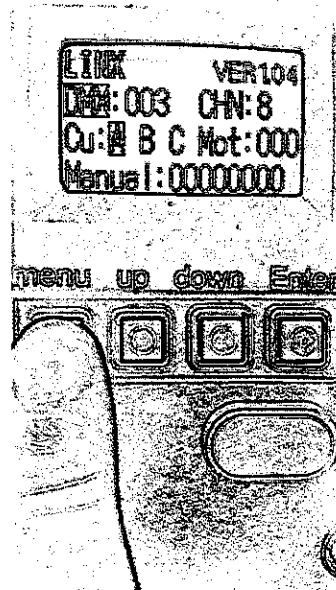


17.3 制御チャンネルを合わせた後、Enterボタンを押し確定させます。

Enterボタンを押さないと制御チャンネルは変更されません。



- 17.4 最後にmenuボタンを押し設定モードを終了します。
※設定モードを終了しないとDMX信号を受け付けません。



18. 点検と修理

18.1 日常点検、整備のお勧め

本製品の耐用年数は、設置環境、取扱状態、保守管理状態によって異なります。
下記の点検項目に沿った内容で保守点検と、正しい維持管理を行ってください。
なお、補修部品の最低保有期間は製造打ち切り後年です。

- (1) お買い求めいただいた照明光源の性能を末長く維持し、安全を確保するために、下記の日常点検チェックリストに基づき点検および処置をしてください。

(2) 日常点検チェックリストおよび処置

分類	点検項目	日常整備			弊社依頼
		増締め	清掃	交換	修理
光源	本体の異常変形・損傷はないか。			○	
	角度調整部の動作締付けに異常はないか。	○			
	本製品内に埃や紙吹雪はないか。		○		
	ネジ類に緩みはないか。	○			
	点灯するか。				○
落下防止ワイヤ	本体取付金具部に損傷はないか。			○	
	ワイヤーに損傷はないか。			○	
	落下防止受け金具に損傷はないか。			○	
レンズ	ひび割れ、破損はないか。			○	
	汚れていないか。		○		
電源コード	変色・亀裂・変形はないか。			○	
プラグ	変色・損傷はないか。			○	
	着脱状態は良いか。			○	
手元操作	手元操作にて調光操作できるか。				○
拡散フィルタ	変色・損傷・変形はないか。			○	

18.2 レンズ、拡散フィルタの清掃方

レンズが汚れると、照度の低下、部品の劣化・損傷の原因となります。適時、清掃を行ってください。清掃を行うときは、LED光源ユニットのプラグを抜いてください。

(1) レンズ収納部

- ① レンズカバー部を外してください。
- ② 清掃しやすいようにズーム手動調整ボリュームをいっぱいまで回しレンズを前面側に移動させてください。
- ③ レンズは柔らかい布等で軽く表面を拭いてください。拡散フィルタは表面の埃を払ってください
- ④ レンズカバー部を取り付けてください。

注意

- シンナーやアルコール等の有機溶剤は使用しないでください。
- レンズを拭くときはあまり力を入れずに軽く表面を拭いてください。
- 拡散フィルタの表面を乾いた布でこすると、摩擦により静電気が発生し、空気中に浮遊するゴミが付着しやすくなり、傷の原因となりますので、注意してください。
また、表面を強く押すとしわになったり枠から外れたりするので、注意してください。

18.3 定期点検のお勧め

- (1) 使用期間における経年変化または、ご使用の状況によっては消耗、劣化する部品や絶縁の低下がありますので、専門技術者による定期点検をお勧めします。
- (2) 定期点検は、弊社との保守点検契約をお勧めいたします。
点検内容、点検周期は、保守点検契約に基づいて実施いたします。

18.4 修理

- (1) 修理の判断
前記日常点検チェックリストに基づいて点検した結果、修理依頼の必要がある場合、およびその他以上がある場合は修理を依頼してください。
- (2) 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
- (3) 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- (4) 修理は弊社にお問い合わせください。

19. 仕様一覧

19.1 仕様一覧

形名	LPL-64AZ-260-F	LPL-64AZ-220-VVV	LPL-64AZ-220-CW
レンズ	拡散レンズ		
入力電圧(V)	AC95~240V(純直回路のみ)		
定格消費電力(W)	260	220	220
電源周波数(Hz)	50/60		
相関色温度(K)	RGBW	3,200	6,000
平均演色評価数	-	96	96
光源寿命(h)	使用環境に依る		
上下使用角度範囲	±90°		
最高周囲温度(°C)	50°		
最高表面温度(°C)	60°		
最小照射距離(m)	0.5		
最小離隔距離(m)	0.1		
調光範囲(%)	0-100		
調光方式	DMX512 ※2 / 手動		
本体質量(kg)	3.2Kg		
材質	アルミダイキャスト、PC		
防水防塵等級	IP65		
プラグ	なし		
電源コード	2PNCT(キャプタイヤケーブル)		
信号ケーブル	DMX512ケーブル IN/OUT 0.8m×2本		
付属品	位置調整用シリコンテープ×4枚		

*はオプション

- ・本仕様は弊社の標準仕様を表しています。
- ・交換部品・消耗部品は弊社の純正部品をお使いください。
- ・LED素子にはバラツキがあり、同一の形名においても光色、明るさが異なることがあります。

※1 温度25°C環境下でのテスト値であり、保証値ではございません。
 ※2 USITT DMX512-Aに準拠

20. DMXチャンネル表

20.1 LPL-64AZ-260-F (フルカラー)

制御チャンネル 4ch モード

DMXチャンネル	機能	内容	DMXレベル
1	レッド	カラーコントロール	0-255
2	グリーン	カラーコントロール	0-255
3	ブルー	カラーコントロール	0-255
4	ホワイト	カラーコントロール	0-255

制御チャンネル 5ch モード

DMXチャンネル	機能	内容	DMXレベル
1	マスター	ディマーコントロール	0-255
2	レッド	カラーコントロール	0-255
3	グリーン	カラーコントロール	0-255
4	ブルー	カラーコントロール	0-255
5	ホワイト	カラーコントロール	0-255

制御チャンネル 6ch モード

DMXチャンネル	機能	内容	DMXレベル
1	マスター	ディマーコントロール	0-255
2	レッド	カラーコントロール	0-255
3	グリーン	カラーコントロール	0-255
4	ブルー	カラーコントロール	0-255
5	ホワイト	カラーコントロール	0-255
6	ストロボ	ストロボ効果	0-255

制御チャンネル 7ch モード

DMXチャンネル	機能	内容	DMXレベル
1	マスター	ディマーコントロール	0-255
2	レッド	カラーコントロール	0-255
3	グリーン	カラーコントロール	0-255
4	ブルー	カラーコントロール	0-255
5	ホワイト	カラーコントロール	0-255
6	ストロボ	ストロボ効果	0-255
7	ズーム	レンズズーム	0-255

制御チャンネル 8ch モード

※特殊な使用に限る

DMXチャンネル	機能	内容	DMXレベル
1	マスター	ディマーコントロール	0-255
2	レッド	カラーコントロール	0-255
3	グリーン	カラーコントロール	0-255
4	ブルー	カラーコントロール	0-255
5	ホワイト	カラーコントロール	0-255
6	ストロボ	ストロボ効果	0-255
7	ズーム	レンズズーム	0-255
8	FAN	0:auto 1-127:可変 128-254:30% 固定 255:OFF	0-255

※8chモードのご使用は撮影・コンサートで音が気になる場合や屋外の炎天下で使用する際の特種な使用に限ります。

※5分以上ファンをOFFにした場合、LCDが点滅することにより温度上昇を警告し強制的にファンをフル回転する冷却モードに移行されます。

※ファンを強制的に低速回転にしたりやOFFにし長時間使用すると放熱が間に合わず電源が落ちることがあります。

※8chモードを使用しての事故やL光源の故障については一切の責任を負いかねます。

制御チャンネル 1ch モード

DMXチャンネル	機能	内容	DMXレベル
1	マスター	ディマーコントロール	0-255

制御チャンネル 2ch モード

DMXチャンネル	機能	内容	DMXレベル
1	マスター	ディマーコントロール	0-255
2	ストロボ	ストロボ効果	0-255

制御チャンネル 3ch モード

DMXチャンネル	機能	内容	DMXレベル
1	マスター	ディマーコントロール	0-255
2	ストロボ	ストロボ効果	0-255
3	ズーム	レンズズーム	0-255

制御チャンネル 4ch モード

DMXチャンネル	機能	内容	DMXレベル
1	マスター	ディマーコントロール	0-255
2	ストロボ	ストロボ効果	0-255
3	ズーム	レンズズーム	0-255
4	ディレイ	ディレイ	0-255

制御チャンネル 5ch モード

※特殊な使用に限る

DMXチャンネル	機能	内容	DMXレベル
1	マスター	ディマーコントロール	0-255
2	ストロボ	ストロボ効果	0-255
3	ズーム	レンズズーム	0-255
4	ディレイ	ディレイ	0-255
5	FAN	0:auto 1-127:可変 128-254:30% 固定 255:OFF	0-255

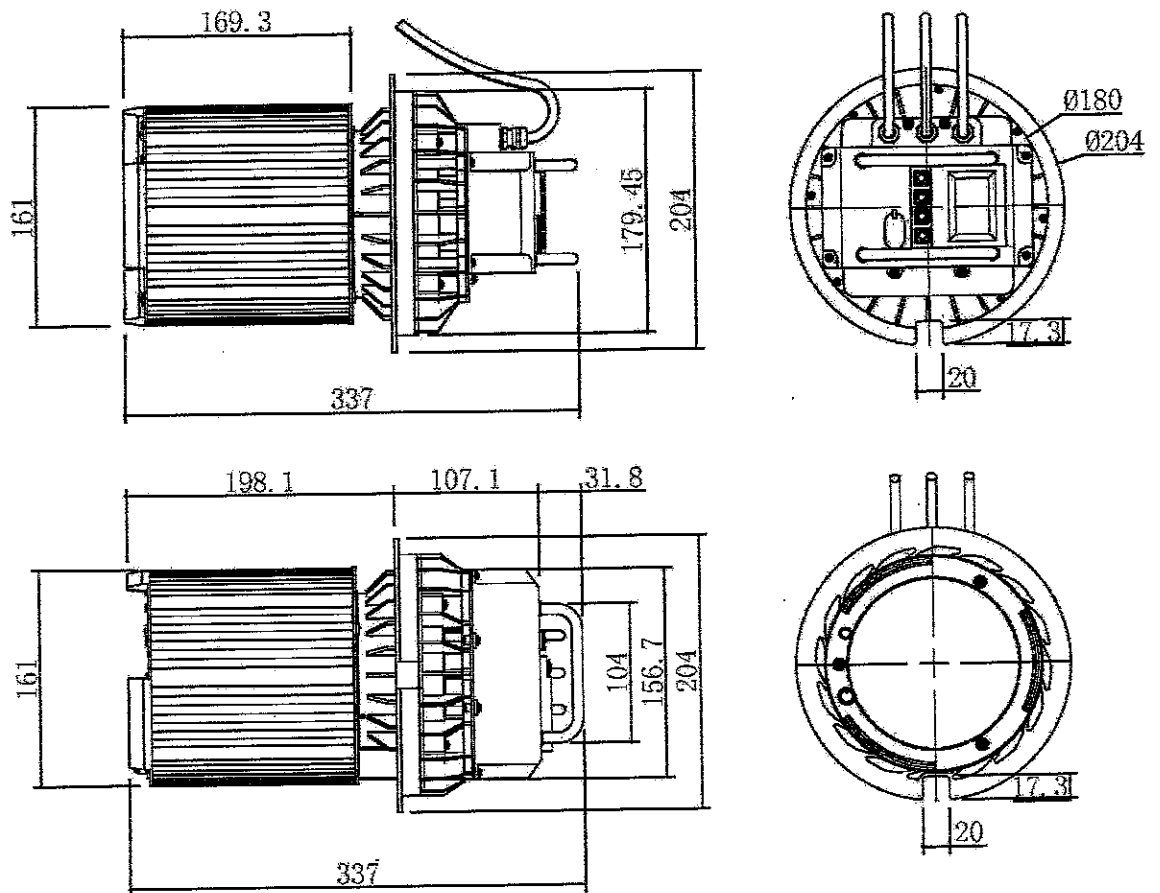
※5chモードのご使用は撮影・コンサートで音が気になる場合や屋外の炎天下で使用
 する際の特殊な使用に限ります。

※5分以上ファンをOFFにした場合、LCDが点滅することにより温度上昇を警告し
 強制的にファンをフル回転する冷却モードに移行されます。

※ファンを強制的に低速回転にしたりやOFFにし長時間使用すると放熱が間に合わず
 電源が落ちることがあります。

※5chモードを使用しての事故や光源の故障については一切の責任を負い兼ねます。

2 1 . . 外形図



*仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがございます。

保証について

保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合に、無償修理させていただきます。

※保証の例外

24時間連続使用など、1日10時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (2) お買上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
- (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
- (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
- (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
- (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
- (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷

2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を

申し受けます。

修理を依頼されるとき

・保証期間中は、お買上げ日を特定できるものを添えてお買上げ販売店(工事店)までお申し出ください。

・保証期間を過ぎている時は、お買上げ販売店(工事店)にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買上げ販売店

(工事店)にお問い合わせください。その際は光源の形名、お買上げ時期をお忘れなくお知らせください。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点はお買上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

日本国内専用
Use only in Japan

リンクスジャパン株式会社

お読みになったあとも必ず保存してください。